

まちづくりの考えは？

問 相見駅前交番の設置推進は

答 早期に実現する方向ですすめる



酒向 弘康 議員

答 将来的に区画整理と合わせて、常駐型の分署的な機能を持った幹部交番を考えたい。

問 広田川の2つの河川水位監視カメラの映像を町HPでリアルタイム公開を。

答 総務部長 システム変更時に公開できるように検討する。

問 災害弱者と呼ばれる、※要援護者の対象人数と登録率、近隣との比較。

答 2562人。登録者は129人で5%。岡崎市53・2%。西尾市26・5%。

問 災害時要援護者登録を伸ばす抜本的な取り組みの考えは。

答 マップ作成など内部で検討していく。

※高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦といった災害時に自力で避難することが困難な人のこと。

問 パブリックコメントの現状は

答 公表して反映させている

のアクセス数は。

答 月1万3200部発行、住民、3駅、町民会館、道の駅などに配布。

本年度10月末まで2万849件。年々増加。

問 HPに古い情報の掲載がある、管理の仕組みは。担当課が自主管理する。今後、外部モニター制度など検討する。

問 最近実施したパブリックコメントの状況と寄せられた意見の件数、その反映は。

答 平成25年度は5件、26年度は2件。公表して反映させている。

問 広報戦略を、作成中の第6次総合計画におこみ、策定する考えは。

答 中・長期の広報戦略を策定する考えはない。

広報の充実を図る考えは盛り込んでいく。

問 町の玄関口にふさわしい、幸田駅前交番の建物と交番機能に。

答 町長は所信表明で、相見駅前交番の設置推進を表明したが、見直しは。

答 町長 県警本部、岡崎警察署に要望をしている。早期に実現する方向ですすめている。

答 総務部長 駐在所は交番を補完する機能として配置されている。

問 町内3つの駐在所の交番化への状況は。

交番、駐在所の再編強化と、災害から住民の命を守る施策を問う。



野場駐在所

問 住民最大の情報源である「広報こうた」の発行部数と配布先、町HPへ

修繕は町。

答 企画部長 各区からの要望で昭和55年に設置。

問 「広報掲示板」設置の経緯と設置数、管理の現状は。

自治体の広報業務は大きな役割と役目がある。さらに「新たな広報力」を身につけ活性化が必要だ。

51カ所維持管理は区。

51カ所維持管理は区。

51カ所維持管理は区。

51カ所維持管理は区。

51カ所維持管理は区。

51カ所維持管理は区。

51カ所維持管理は区。